

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年2月19日
作成担当部署 市民生活部自治振興課

2 第三セクター等の概要

法人名 有限会社 阿多田島汽船
代表者名 代表取締役 名島正孝
所在地 広島県大竹市晴海二丁目2番
設立年月日 昭和42年4月28日
資本金 4,000千円
【大竹市の出資額（出資割合） 1,500千円（37.5%）】
業務内容 旅客フェリーの運航

3 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

○法人の経営状況や財政的なリスク

航路輸送量については、旅客は平成21年度まで減少傾向であったが、平成22年度から阿多田島の水産会社が海上釣り堀を開始したことから、減少に歯止めがかかっている。自動車航送は大きな変動はなく、近年は公共工事の増加により高止まりとなっているが、手荷物及び貨物は減少している。

航路収支については、収益が年間約5千万円程度で推移しており、公共工事により増加した年もある。費用は、新船建造後は年間約1億円程度で推移しており、大きな変動はなく、運航にかかる欠損金も年間約5千万円程度で推移していたが、平成27年10月にフェリーのJRTT持分を買取り、減価償却も終了したことから、費用が圧縮され、欠損金は年間約4千万円程度で推移している。

市は債務の損失補償、短期貸付け、長期貸付け及び長等の私人としての債務保証は行っていない。

○地方公共団体としての財政支援、監査、情報公開の実施状況

財政支援については、欠損金は離島航路整備法により、法人が国から離島航路運営費等補助金を受けており、更に不足する部分は県と市が補助している。また、法人が円滑に資金融資を受けられるよう市が金融機関へ預託することで、法人の運営の安定化を支援している。

出資法人に対する監査については、法人の経営や公的支援の実態を把握しており、市ホームページで航路事業報告を行っている。また、情報公開条例及び出資法人の保有する情報の公表に関する要綱に基づき、財務書類等を公表している。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

法人は離島である阿多田島と本土を結ぶ唯一の航路（阿多田～小方航路）を運行しており、出資割合は市 37.5%、阿多田島漁業協同組合 37.5%、個人 25% である。離島航路は島民にとって日常生活に不可欠な交通手段であり、法人の各出資者がそれぞれの立場で島民の要望等の把握に努めており、島民の要望等を踏まえた運行計画を策定していることから、今後も行政運営上必要な組織である。

しかしながら、離島航路事業は採算性が無いことから、引き続き離島航路運営費等補助金及び広島県離島航路補助金の補助対象航路として、航路の維持及び改善に努めていく必要がある。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

法人は減価償却が終了した現行フェリーの船舶経費の節減に努め、収益体質の改善を図りながら、出資者とともに経営改革を実施していく。また、フェリーの代替建造時においては、欠損金の削減を目指すため、市がフェリーを建造し、法人に貸与する公設民営を含めるなど更なる経営健全化を推進する。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額（千円）		
		H27 年度	H28 年度	H29 年度
	資産総額	49,897	30,048	32,280
	（うち現金・預金）	22,896	4,352	6,756
	（うち立替金）	101	77	55
	（うち未収入金）	213	356	279
	（うち前払金）	3,674	2,971	3,006
	負債総額	95,274	62,705	70,119
	（うち大竹市からの借入金）	0	0	0
	純資産額	△45,377	△32,657	△37,839

損益計算書から	項目	金額（千円）		
		H27 年度	H28 年度	H29 年度
	経常収益	106,502	107,954	95,602
	経常費用	107,042	95,424	100,784
	経常利益（損失）	△540	12,530	△5,182
	特別利益	1,710	190	0
	当期純利益（純損失）	1,170	12,720	△5,182